取扱説明書

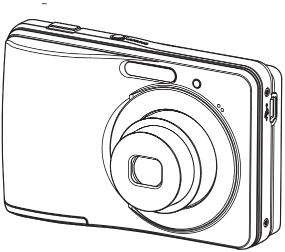
HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-1231形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-1231」をお求めいただき、
まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P198
※はじめに（P6～P15）を必ずお読みいただき、
正しくご使用ください。

i.mega

はじめに　6

基本操作編　33

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

応用操作編 85

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

パソコン接続編　155

パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

付録　175

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
⚠	このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、電池を外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。

火災・感電・浸水の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警　告

アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴおよびSDHCロゴは登録商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、内部に結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単3形マンガン乾電池は使用できません。P35

万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなったり、光の帯が表示されることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカードを使用できます。（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16/32GB（SDHC）対応）（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
  miniSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**P152してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする**P152ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、1200万画素CCDイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、2.7型の大画面液晶モニターや、光学3倍ズームを搭載したデジタルカメラです。

主な特長は以下の通りです。

主な特長

○A3プリントにも対応の1200万画素CCDイメージセンサー搭載

○約23万画素の高画質で2.7型TFTカラー液晶モニター搭載

○光学3倍ズーム＆デジタル6倍ズーム撮影 P61
（デジタルズーム併用時最大18倍）

○顔認識機能 P65

○手ぶれ軽減モード P101

○多彩なシーンモード搭載 P101
（プログラムAE、笑顔認識、手ぶれ軽減、パノラマアシスト、人物、風景、スポーツ、夜景人物、夜景、キャンドル、夕日、朝日、スノー、ビーチ、ペット）

○保存も安心の32MB内蔵フラッシュメモリー＆コピーto SDカード機能 P150

○現像も簡単なSDメモリーカード(※1)対応
（SDメモリーカードスロット搭載）

○季節の草花に便利なマクロ撮影機能（5cm～）P66
○音声付き動画撮影機能（※2）P68
○3枚の連写撮影、AE連写 P128
○多彩なプリセット、マニュアル撮影機能
（露出 P112、ISO感度 P114、ホワイトバランス P116、シャープネス P120、色効果 P122、コントラスト P124、測光方式 P126）
○多彩な再生モード
（シングル再生、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））P76、スライドショー再生 P143、動画再生 P79）
○すぐに使えるオールインワンパッケージ P18

（※1）SDメモリーカードは別売です。
（※2）本機はスピーカーを搭載しておりません。音声付き動画をお楽しみいただくにはパソコンでご覧いただく必要があります。

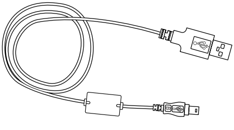
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

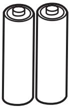
・カメラポーチ

・ストラップ

・専用USBケーブル



・単3形アルカリ乾電池（動作確認用）

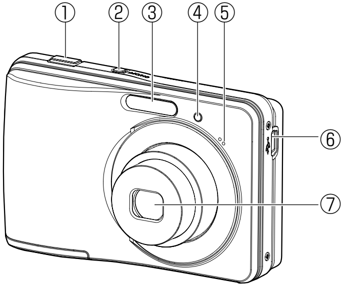


・取扱説明書

■ 各部の名称と各ボタンの役割

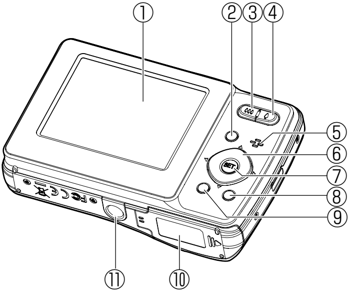
正面

①シャッター P53
②電源ボタン P37
③ストロボ P58
④セルフタイマーランプ P135
⑤マイク
⑥USB端子 P158
⑦レンズ

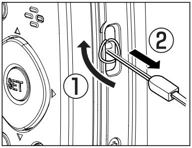


背面

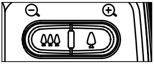
①液晶モニター
②MODE（モード）ボタン P21
③ズームアウトボタン P21
④ズームインボタン P21
⑤動作確認用ランプ P32
⑥コントロールパネル P22
⑦SET（セット）ボタン P23 P24
⑧ ▶ 再生ボタン P21
⑨MENU（メニュー）ボタン P21
⑩電池／メモリーカードカバー
⑪三脚ねじ穴



ストラップの取付け方

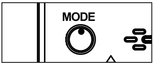


ズームアウト／ズームインボタン



静止画撮影 動画撮影モード時に**ズーム撮影をする** P61 場合や、再生モード時に**ズーム再生** P76 をする場合に使用します。

MODEボタン



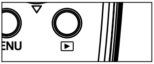
撮影モード（静止画撮影／動画撮影）を切り替える場合に使用します。

MENUボタン

各モード時に設定可能なメニューを表示させる場合に使用します。

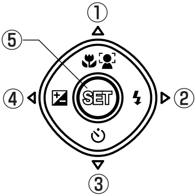
各メニュー表示時に、再度MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニュー表示がキャンセルされ、各モードに戻ります。

再生ボタン



撮影した静止画や動画を再生する場合や、再生モードから撮影モードに戻る場合に使用します。

コントロールパネル



コントロールパネルの各ボタンにはご使用のモードによって、複数の役割があります。
以下の内容をしっかりと確認して操作してください。

《静止画撮影／動画撮影モード時》

No.	ボタンの表示	ボタンの名称	機能
①		【▲】上ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合に使用します。
		撮影距離切替／顔認識機能ボタン [初期設定：オート]	撮影距離を切り替える場合や、AFトラッキング P64 、顔認識機能 P65 を使って撮影する場合に使用します。
②		【▶】右ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合に使用します。
		ストロボボタン [初期設定：オート]	静止画撮影モード時に各ストロボモードを選ぶ場合 P58 に使用します。

No.	ボタンの表示	ボタンの名称	機能
③		【▼】下ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合に使用します。
		セルフタイマーボタン [初期設定:オフ]	セルフタイマー撮影をする場合 P133 に使用します。
④		【◀】左ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合に使用します。
		露出補正設定ボタン [初期設定:0.0]	静止画撮影モード時に、露出補正を設定する場合 P112 に使用します。
⑤	SET	SETボタン [初期設定:オート]	各メニュー画面で決定する場合に使用します。

《再生モード時》

No.	ボタンの表示	ボタンの名称	機能
①		【▲】上ボタン	各メニュー画面で上を選ぶ場合や、シングル再生時に10枚単位で後の画像に送る場合 P76 などに使用します。
②		【▶】右ボタン	各メニュー画面で右を選ぶ場合や（一つ後の）画像を選ぶ場合などに使用します。

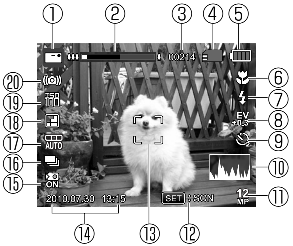
No.	ボタンの表示	ボタンの名称	機能
③		【▼】下ボタン	各メニュー画面で下を選ぶ場合や、シングル再生時に10枚単位で前の画像に送る場合 P76 などに使用します。
④		【◀】左ボタン	各メニュー画面で左を選ぶ場合や（一つ前の）画像を選ぶ場合などに使用します。
⑤	SET	SETボタン	各メニュー画面で決定する場合や動画再生を開始・一時停止する場合などに使用します。P79

以降、この取扱説明書では、MODE（モード）ボタン、MENU（メニュー）ボタン、▶再生ボタン、SET（セット）ボタン、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。

- **MODE（モード）ボタン、MENU（メニュー）ボタン、▶再生ボタン、SET（セット）ボタンを押す操作**
  →MODE、MENU、▶、SETを押す
- **コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作**
  →【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
  →【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 静止画を撮る P52



①静止画撮影モードマーク P101

- オート
- プログラムAE
- 笑顔認識
- 手ぶれ軽減
- パノラマアシスト
- 人物
- 風景
- スポーツ
- 夜景人物
- 夜景
- キャンドル
- 夕日
- 朝日
- スノー
- ビーチ
- ペット

②ズームバー P61

③撮影可能枚数 P192

④メモリ P44

- INT 内蔵メモリ使用時
- SDメモリーカード使用時

⑤電池残量 P36

- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑥フォーカスモード P64

- (表示なし)オート
- 顔認識
- AFトラッキング
- マクロ(近距離)
- ∞無限遠(遠距離)

⑦ストロボモード P58
（表示なし）オート
強制発光
発光禁止
赤目軽減
夜景フラッシュ
⑧露出（明るさ）補正値 P112
−2.0EV〜+2.0EV
（※設定値0時は非表示）
⑨セルフタイマー
（表示なし）オフ P133
2秒
10秒
10秒＋2秒
⑩ヒストグラム P30
⑪画像サイズ P109
3968×2976
（約1200万画素）
3264×2448
（約800万画素）
2304×1728
（約400万画素）
1600×1200
（約200万画素）
VGA 640×480
（約30万画素）
⑫動作指示アイコン
⑬フォーカスフレーム P53
※シャッターボタン半押し時に有効
⑭日付／時刻 P39
⑮クイック撮影 P131
⑯撮影モード P128
（表示なし）シングル
連写
AE連写
⑰ホワイトバランス P116
オート
白熱灯
蛍光灯1
蛍光灯2
晴天
曇天
マニュアル
⑱画質 P110
ファイン
スタンダード
エコノミー
⑲ISO P114
（表示なし）オート
ISO100相当
ISO200相当
ISO400相当
ISO800相当
ISO1600相当
⑳手ぶれ注意マーク

動画撮影モード時　動画を撮る P68

① 動画撮影モードマーク

②ズームバー P61

③メモリ P44

INT 内蔵メモリ使用時

SDメモリーカード使用時

④電池残量 P36

電池の残量は十分です。

電池の残量が少なくなっています。

まもなく電池の残量がなくなります。

電池の残量がありません。

⑤フォーカスモード P64

(表示なし)オート

マクロ(近距離)

∞無限遠(遠距離)

⑥ストロボモード P58

発光禁止

※動画撮影モードではストロボの操作はできません。

⑦セルフタイマー P133

(表示なし)オフ

2秒

10秒

⑧画像サイズ P109

VGA VGA

QVGA

⑨撮影時間／撮影可能時間 P192

※撮影開始後は撮影時間を表示

⑩日付／時刻 P39

⑪画質 P110

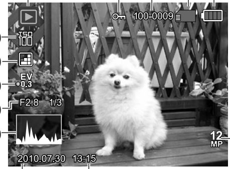
ファイン

スタンダード

⑫音声オフマーク P71

※音声オフ設定の場合

再生モード時（静止画） 静止画・動画を見る P74



① 再生モードマーク

②プロテクトマーク P145

※プロテクトされている場合に表示

③フォルダー／ファイル番号 P94

④メモリ P44

- INT 内蔵メモリ使用時
- SDメモリーカード使用時

⑤電池残量 P36

- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

⑥画像サイズ P109

- 12MP 3968×2976（約1200万画素）
- 8MP 3264×2448（約800万画素）
- 4MP 2304×1728（約400万画素）
- 2MP 1600×1200（約200万画素）
- VGA 640×480（約30万画素）

⑦日付／時刻 P39

⑧ヒストグラム P30

⑨F値／シャッタースピード

⑩露出（明るさ）補正値 P112

−2.0EV〜+2.0EV
（※設定値0時は非表示）

⑪画質 P110

- ファイン
- スタンダード
- エコノミー

⑫ISO P114

オート：撮影時のISO値

ISO100相当

ISO200相当

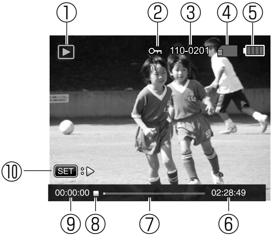
ISO400相当

ISO800相当

ISO1600相当

再生モード時（動画）

静止画・動画を見る P74



①再生モードマーク

②プロテクトマーク P145

※プロテクトされている場合に表示

③フォルダー／ファイル番号 P94

④メモリ P44

⑤電池残量 P36

⑥総撮影時間

⑦動画ステータスバー

⑧動作モード

⑨経過時間

⑩動作指示アイコン P79

▷ 再生

❚❚一時停止

□停止

▷▷ 4x▷▷早送り

◁◁ 4x◁◁巻戻し

液晶モニターの表示切替について

各モードの液晶モニターの表示は、**[標準] [全表示] [オフ]** から選ぶことができます。[設定] メニューで切り替えます。

P92

- **▶ 再生モード時でも動画像の場合は、ヒストグラム表示など画像の詳細表示は表示されません。**
- **▶ 再生モード時でも、ズーム再生をすると、ヒストグラム表示などの詳細表示は表示されません。**

≪ヒストグラムについて≫

ヒストグラムとは、画像の明るさをグラフ化したもので、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げて表します。撮影した画像のヒストグラムの形状を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

- **中央を中心とした山の形状になっている場合：**
  暗い部分、中間の部分、明るい部分がバランスよく撮影された適正露出の画像
- **山の高い部分が極端に左側に寄っている形状の場合：**
  暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像。夜景など黒いものが画像の大部分を占めている場合もこのような形状になります。
- **山の高い部分が極端に右側に寄っている形状の場合：**
  明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像。白いものが画像の大部分を占めている場合にもこのような形状になります。

- 撮影前のヒストグラムはそのときに画面に表示されている画像のヒストグラムを表示しています。
  撮影前と撮影後では、ヒストグラムに差が生じます。
  特に、ストロボ発光時や暗い場所での撮影時には、
  大きく差が出る場合がありますので、撮影後は、
  ▶ 再生モード（全表示）で確認してください。
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されない場合があります。
- 撮影したい画像を意図的に露出オーバーやアンダーにする場合もありますので、必ずしも中央を中心とした山の形状になっている場合が適性ではありません。

■ 動作確認用ランプの表示

動作確認用ランプ（グリーン）は、本機の状態や操作を点灯や点滅表示でおしらせします。

<table>
<tr><th rowspan="2">表示方法</th><th colspan="3">操作・状態</th></tr>
<tr><th>撮影モード時</th><th>再生モード時</th><th>パソコン接続時</th></tr>
<tr><td>点灯</td><td>下記以外の電源オン時</td><td>静止画再生時</td><td>パソコン接続中</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点滅</td><td>動画撮影時</td><td>動画再生時</td><td rowspan="3">内蔵メモリまたはSDメモリーカードにアクセスしているとき</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリまたはSDメモリーカードにアクセスしているとき（画像の記録中など）</td><td>内蔵メモリからSDメモリーカードにデータをコピーしているとき</td></tr>
<tr><td>ストロボ充電中（静止画撮影モード時）</td><td>撮影データを読み込むとき</td></tr>
</table>

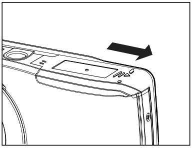
基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する

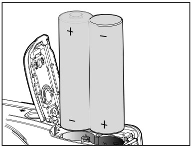
■ 電池を入れる

1



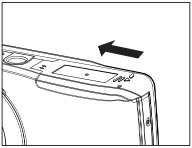
電池／メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

2



+と−のしるしにあわせて電池を入れます。

3



電池／メモリーカードカバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも微電流が流れています。長期間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池（充電式）を使用できます。

液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P192）は、約120枚です。より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単3形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。

電池残量の表示

電池の残量は十分です。

電池の残量が少なくなっています。

まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボの充電中に電源がオフになったり、また、**フォーマットする** P152、**内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする** P150 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

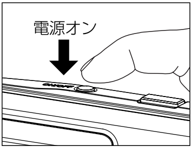
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

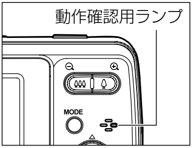
- **使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。**
- **電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。**

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P192 にてご確認ください。

■ 電源のオン／オフ

1

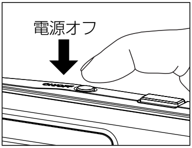




電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、レンズが出て、静止画撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

2



液晶モニターが消えるまで電源ボタンを押し、電源をオフにします。

- 電源ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。
  その場合はゆっくりと操作をやり直してください。
- 電源オン時の起動画面を変更することはできません。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートパワーオフ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P88 ）と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源ボタンを押し、電源をオンにしてください。

- **USB接続している** P158 場合や**スライドショー再生** P143 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。
- オートパワーオフを［2分/3分/オフ］にした場合、約1分間無操作状態が続くと自動的に液晶モニターがオフになります（動作確認ランプは緑色点灯のままです）。この場合、電源ボタン以外のボタンを押すことで液晶モニターが復帰します。電源ボタンを押した場合は電源が切れます。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。その場合は､以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池をはずして長時間保管されていた場合などは、必ず時計表示を確認してください。**
  内部時計は約1分間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定をクリアにする場合があります。
- **設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す** **P48** **操作を行っても保持されます。**

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。

[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［設定］を選び、

SETを押します。

［設定］メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、

SETを押します。

［日付／時刻］設定画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で日付の表示を選び、

SETを押します。

日付の設定画面が表示されます。

5

【◀】【▶】で項目を選択し、【▲】【▼】で数値を合わせ、すべて合わせたらSETを押します。

・時刻を合わせる場合は、手順 **4** で時刻の表示を選び、**5** と同様の操作で合わせます。

・日付の表示形式を変更したい場合は、手順 **4** で表示形式（「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」）を選びます。表示形式の設定画面が表示されたら、【▲】【▼】で設定したい表示形式を選び、SETを押して決定します。

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買い上げ時の設定は [50Hz] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。

[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [設定] を選び、

SETを押します。

[設定] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で[周波数]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

4

【◀】【▶】で[50Hz]／[60Hz]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定]メニューに戻ります。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、**初期設定に戻す** P48 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P15 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます（32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16/32GB（SDHC）対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵32MBフラッシュメモリ搭載）
また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P150 こともできます。

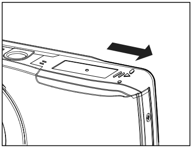
- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間** P192 **をご覧ください。**

・ご使用中のSDメモリーカードのカードサイズやメモリ残量の情報は、[設定] メニュー内 [メモリー情報] で確認できます。

SDメモリーカードを使用していない場合は内蔵メモリの情報が確認できます。**メニューと設定項目** P188

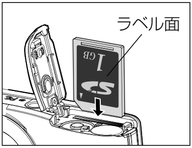
操作方法は、静止画撮影／ 動画撮影／ 再生モードからMENUを押して、各メニューを表示させ、【▲】【▼】で [設定] を選びSETを押します。設定メニューが表示されたら、【▲】【▼】で [メモリー情報] を選びSETを押します。

1



電源がオフであることを確認してから電池／メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます。

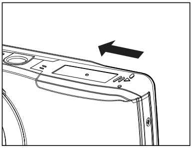
2



SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに挿入します。

メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

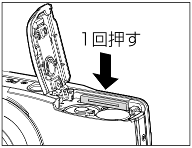


電池／メモリーカードカバーを閉じます。

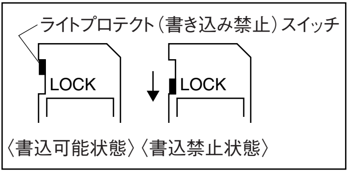
- 電池／メモリーカードカバーが完全に閉まらない場合は、一度SDメモリーカードを取り出してから、もう一度入れ直してください。
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDメモリーカードが優先されます。
SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。
SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。
フォーマットする P152
- アダプターを使用してのminiSD／microSDカードでの動作は保証いたしません。

SDメモリーカードを取り出すには

電源がオフであることを確認してから電池／メモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。



SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について



SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードロック」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻します。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードからMENUを押します。

[撮影]／[再生]メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [設定] を選び、

SETを押します。

[設定] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で[初期設定]を選び、

SETを押します。

確認画面が表示されます。

4

【◀】【▶】で[実行]／[キャンセル]を選び、

SETを押します。

[実行]を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、[設定]メニューに戻ります。

各項目の初期設定

設定項目	初期設定
ストロボモード P58	オート
フォーカスモード P64	オート
シーンモード P101	オート
露出（EV） P112	0.0
セルフタイマー P133	オフ
画像サイズ P109	静止画：12M 動画　：VGA
ISO感度 P114	オート
画質 P110	ファイン
ホワイトバランス P116	オート
シャープネス P120	スタンダード
色効果 P122	スタンダード
コントラスト P124	中
測光方式 P126	マルチ
撮影モード P128	シングル
クイック撮影 P131	オフ
デジタルズーム P62	オフ
プレビュー P99	オン
日付プリント P137	オフ
オートパワーオフ P88	1分
操作音 P90	オン

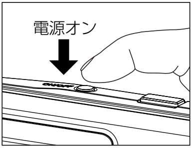
設定項目	初期設定
画面表示 P92	標準
液晶の明るさ P97	標準
スライドショー P143	5秒
音声(動画像のみ) P71	オン

日付／時刻や言語(初期設定は[日本語] P86)、周波数(初期設定は[50Hz] P42)の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。メニューと設定項目 P188

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

1



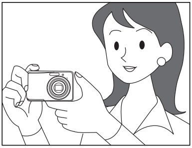
電源ボタンを押し、電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、レンズが出て、静止画撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P37

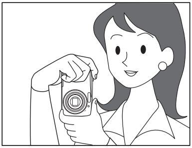
2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。



・横に持つ場合

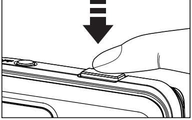
両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。



・縦に持つ場合

レンズが下側にくるようにして、カメラをしっかりと固定してください。

3

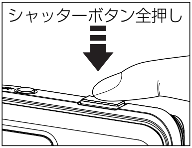


被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

・操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］ P90）は、「ピッ」という音がしてフォーカスフレームの表示がグリーンになります。シャッタースピード、F値の値が液晶モニターに表示されます。

- フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。**ピントについて** P56
- パノラマアシストモード時は【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選んでからピントを合わせてください。

4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターが切れます。

- 操作音の設定が [オン] になっている場合（初期設定は [オン] P90）は、「ピッ」という音で撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定が [オン] になっている場合（初期設定は [オン] P99）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプが点滅している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。
- 笑顔撮影モード時は笑顔を認識しないとシャッターが切れません。

手ぶれについて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。

・室内での撮影や夜景モードでの撮影等、被写体の明るさが暗く、手ぶれしやすい場合は被写体や撮影モード（ストロボモードなど）を変更するか、三脚を使うなどして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

手ぶれを軽減するポイント

手ぶれは、撮影時にカメラが上下左右に動いたことにより発生いたしますので、カメラが動かないように注意することが上手に写真を撮影するためのポイントとなります。
本機で撮影する場合は、カメラ本体が動かないように心がけてください。

手ぶれを軽減する手順

1
身体が揺れにくい
姿勢をとる。

2
脇を軽く締める。
（脇に軽く力を入れる）

3
手首が動かないようにする。
（手首に軽く力を入れる）

4
肘は楽にする。
（動きやすくする）

5
シャッターを押す時、
必要以上に強く押さない。

6
画像の取り込みが
完了するまで、
カメラと身体を動かさない。

ピントについて

・ピントが合う範囲は、約40cm（ワイド端（広角側））/約50cm（テレ端（望遠側））～∞です（近距離（マクロ）モード時：約5cm（ワイド端（広角側））/約30cm（テレ端（望遠側））～∞）。

・ピント合わせ（半押し時）の状況は、フォーカスフレームと動作確認用ランプの色で確認できます。

状況	フォーカスフレーム
ピントが合ったとき	グリーン
ピントが合っていないとき	レッド

・本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式を採用しています。

・以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、構図を変更したり、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりしたものでピントをあわせたあと、構図を決めて撮影してください。
  — 階調のない壁などコントラストがはっきりしないもの
  — 画面中央に極端に明るいものがある
  — 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
  — 遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）
  — 動きのはやいもの
  — ピントを合わせたいものが中央にない
  — 暗い場所にある被写体

・フォーカスロックされて、ピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。その場合は、もう一度半押ししてピントを合わせてください。
・半押ししてピントが合ってないときでも、全押しして撮影することはできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。

手ぶれ軽減モードについて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。
・被写体の明るさやストロボモードの状態（暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど）から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ軽減モード P101 を使用しての撮影をおすすめします。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1

静止画撮影モードで⚡(【▶】)を押します。

ストロボモード選択画面になります。

2

設定したいストロボモードを【◀】【▶】で選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。（オートの場合は表示されません）

ストロボモード	設定内容
⚡A オート **初期設定**	撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。
⚡ **強制発光**	常にストロボを発光させます。
⊘ **発光禁止**	ストロボは発光しません。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなりますので、手ぶれ軽減モード **P101** を使用して撮影してください。
⚡◎ **赤目軽減**	暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
⚡S **夜景フラッシュ**	フラッシュ撮影によって、夜景と人物が暗くならないように撮りたいときに使用します。

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、約0.5m～約1.8m（ テレ端（望遠側））、約0.5m～約2.4m（ ワイド端（広角側））です。
  この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定** P114 などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、**初期設定に戻す** P48 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- シーンモードで笑顔認識／風景／スポーツ／夜景／キャンドル／夕日／朝日／スノーモードに設定している場合 P101 や、撮影モードを[連写]、[AE連写] に設定している場合 P128 、 動画撮影モードの場合は、ストロボは発光しません。
- 動作確認用ランプ（グリーン）が点滅している場合は、ストロボの充電中で次の撮影はできません。
  ストロボの充電には約5秒程かかる場合があります。
  充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- 電池残量が少ない場合は、ストロボの充電ができなくなる場合があります。その場合は、電池を交換してください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

■ ズームを使う

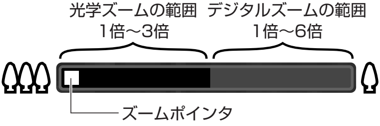
被写体を光学ズーム倍率3倍（35mmフイルム換算約34mm～約102mm）で拡大して撮影できます。
デジタルズーム（6倍）と組み合わせて使用すると最大約18倍の撮影ができます。

- **高倍率での撮影は手ぶれが起こりやすくなります。手ぶれ軽減モード P101 を使用しての撮影をおすすめします。**
- **動画撮影モード時のズームの調整は撮影前に行います。撮影開始後にズームを調整することはできません。**

1 **静止画撮影／動画撮影モード時、液晶モニターで被写体を確認しながら、ズームボタンを押してズームを調整します。**

広角側 ：広角になります。
望遠側 ：望遠になります。

ズームバーの表示



デジタルズームを使う場合

光学ズームが最も望遠側（3倍）になった状態から、さらに中央部分をデジタルズームして撮影することができます。デジタルズームの初期設定は［オフ］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

静止画撮影／動画撮影モードからMENUを押します。

［撮影］メニューが表示されます。

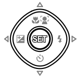
2

【▲】【▼】で［デジタルズーム］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3



[撮影]メニューから【◀】【▶】で[オン]／[オフ]を選び、SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]メニューに戻ります。

ここで選んだデジタルズームの設定は、初期設定に戻す **P48** **操作を行うと[オフ]に戻ります。**

■ AFトラッキング／顔認識／マクロ（近距離）／無限遠（遠距離）モードで撮影する

撮影状況、目的に応じてフォーカスモードの設定を選んでください。

フォーカスモード	設定内容
[AUTO] オート	通常の撮影時に使用するモードです。 約40cm〜∞の範囲で、カメラが自動的にピントを合わせます。
[🔒] AF トラッキング	動きのある被写体にピントを合わせて撮影したい場合に使用するモードです。 ●被写体をフォーカスフレームに合わせ、[▼] を押すと、被写体にフォーカスフレームが追従します。（液晶画面左下の「🔓」が「🔒」に変わります。この状態でシャッターを半押しすると追従している被写体にフォーカスが合います。 ●AFトラッキングを解除する場合は、もう一度 [▼] を押します。 （液晶画面左下の「🔒」が「🔓」に変わり、AFトラッキングが解除されます。）

フォーカスモード	設定内容
顔認識	人物の顔にピントを合わせて撮影したい場合に使用するモードです。 ●同時に5人までの顔を認識しますが、ピントが合うのは1人になります。 メインの顔に白色の枠が表示され、他の顔には灰色の枠が表示されます。 ●どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。 ●顔を認識しない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。 ●次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。 顔の向きが正面を向いていない。 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

フォーカスモード	設定内容
マクロ	花などをアップにして撮影したい場合に使用するモードです。 ○撮影可能範囲： ・ズームが (広角側) いっぱいのとき (ワイド端)：**約5cm〜∞** ・ズームが (望遠側) いっぱい (光学ズーム3倍) のとき (テレ端)　：**約30cm〜∞** **●近距離撮影時にデジタルズームを使用すると、ピントが合いにくくなりますので、デジタルズームを使用しないことをおすすめします。** **●ストロボ撮影の連動範囲 (推奨) は、約0.5m〜約1.8m (テレ端 (望遠側))、約0.5m〜約2.4m (ワイド端 (広角側)) です。** **●近距離撮影時にストロボ撮影をすると、ストロボの光がレンズ部にさえぎられて、画像に影が映し出される場合がありますので、ご注意ください。**
∞ 無限遠 (遠距離)	遠くの風景などを撮影したい場合に使用するモードです。 ピントは∞ (無限遠) に固定されます。

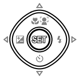
1

静止画撮影モードで（【▲】）を押します。

フォーカスモード選択画面になります。

2

設定したいフォーカスモードを【◀】【▶】で選び、



SETを押します。

液晶モニターに選んだフォーカスモードがアイコン表示されます。（オートの場合は表示されません）

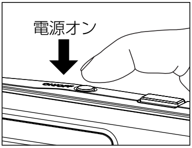
- 動画撮影モードでは「AFトラッキング」「顔認識」は選択できません。
- シーンモードで笑顔認識／風景／夜景人物／夜景／キャンドル／夕日／朝日／ペットモードに設定している場合はフォーカスモードに選択できない設定があります。
- ここで選んだフォーカスモードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うとオートに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生することができます。
撮影時の音声は初期設定では[オン](音声あり)が設定されていますが、音声なしで撮影することもできます。

動画を音声なしで撮影する P71

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

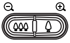
動作確認用ランプが点灯し、レンズが出て、静止画撮影モードで起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P37

2

MODEを押して 動画撮影モードにします。

3

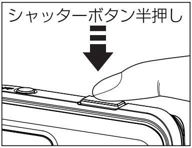


ズームボタンを押して、ズームを調整します。

ズームを使う P61

ズームの調整は撮影開始後にはできません。

4

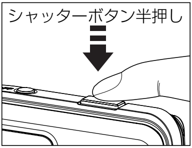


被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

・操作音の設定が［オン］になっている場合（初期設定は［オン］ P90）は、「ピッ」という音がしてフォーカスフレームの表示がグリーンになります。

フォーカスフレームの表示がレッドの場合は、ピントが合っていません。その場合は撮影距離などを確認して、被写体をフォーカスフレームにあわせ、半押しし直してください。半押しの操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。ピントについて P56

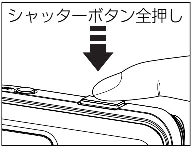
5



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

・撮影を開始します。
・撮影中は液晶モニターに撮影時間が表示されます。

6



撮影をストップするときは、シャッターボタンを押します（全押し）。

撮影をストップします。

- 撮影に必要なメモリ残量や電池残量がなくなった場合、撮影は自動的にストップします。
- 連続撮影を1時間以上行った場合や1ファイルが4GBを超えた場合、撮影は続きますがファイルが分けられます。

- セルフタイマー P133 、ズーム撮影 P61 はできますが、ストロボ撮影はできません。
  画像サイズ P109 、画質 P110 、色効果 P122 、フォーカスモード（オート／マクロ／無限遠） P64 のみ設定可能です。
  設定可能な項目については、**メニューと設定項目** P188 をご覧ください。
- ピントやF値、露出補正値などは撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定値に固定されます。
- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジやテレビ、携帯電話など）からは、できるだけ離れて撮影してください。電磁波の影響で画像や音声が乱れる場合があります。

動画撮影モードから静止画撮影モードに戻る場合は、MODEを押します。

動画を音声なしで撮影する

1

動画撮影モードからMENUを押します。

[ビデオ]メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で[音声]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で[オフ]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影]メニューに戻ります。

ここで選んだ音声の設定は、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと[オフ]に戻ります。

動画ファイルについて

画像サイズ （記録画素数）	VGA：640×480 QVGA：320×240
記録画像ファイルフォーマット	AVI 画像データ：Motion JPEG、 音声：WAV（PCM方式）／モノラル
フレームレート	30フレーム/秒
記録時間	内蔵32MBフラッシュメモリ時： 約10秒 SDメモリーカード1GB時： 約7分40秒 ※640×480、ファイン時

- 記録時間は、あくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。
- 記録可能時間は、撮影開始前に、メモリー容量を確認し、一定のデータを記録することを考慮して、設定しています。そのため表示している記録可能時間より長く、記録できる場合があります。その時は、液晶モニター上に、再度設定された記録可能時間が表示されます。
- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、Windows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

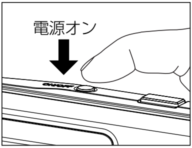
（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX 9.0などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。基本的な再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1.5〜4倍（0.5ステップ））、画像回転、動画再生があります。

スライドショー再生については、スライドショー再生をする **P143** **をご覧ください。**

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

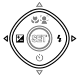
電源のオン／オフ P37

2

▶を押して▶再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3



【◀】【▶】で画像を選びます。

コントロールパネル P22

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

【▲】【▼】で10枚単位で画像を送ることができます。

【▲】10枚後の画像に送ります。
【▼】10枚前の画像に送ります。

ズーム再生をする

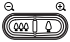
シングル再生で表示された画像を、1.5倍〜4倍（0.5ステップ）の倍率でズーム再生することができます。

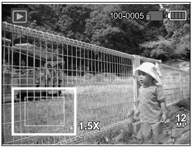
動画像はズーム再生できません。

1

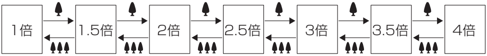
【▲】【▼】【◀】【▶】でズーム再生したい静止画を選びます。

2





ズームインボタンを押すごとに0.5ステップで中央部分を拡大し、ズームアウトボタンで縮小します。



3

【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を変更します。

4

SETを押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

画像を回転させる

1

【▲】【▼】【◀】【▶】で回転させたい静止画を選びます。

2

MENUを押します。

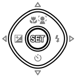
[再生] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [画像回転] を選び、

SETを押します。

4



【◀】【▶】で

・[右90°] に回転させる場合は【◀】を押す。

・[左90°] に回転させる場合は【▶】を押す。

SETを押すと、再生画面に戻ります。

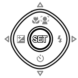
回転させた画像を保存することはできません。また、動画像を回転させることはできません。

動画を再生する

1

【▲】【▼】【◀】【▶】で再生したい動画を選びます。

2



SETを押すと、再生をスタートします。

再生をスタートすると、液晶モニターに経過時間を表示します。

再生中の操作

SETを押す：‖ 一時停止

【▼】を押す：□ 停止

【▶】を押す：

▷▷2倍速再生→×4▷▷4倍速再生→標準再生

【◀】を押す：

◁◁2倍速逆再生→×4◁◁4倍速逆再生→標準再生

画像を消去する

画像を消去するには

・1枚ずつ消去する

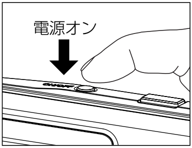
・全ての画像を消去する

の2つの方法があります。 ▶ 再生モードから操作します。

- **一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要な画像(ファイル)かどうかよく確かめてから行ってください。**
  特に全ての画像を消去する場合は、全ての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。
- **消去中にカメラの電源がオフになると、正しく消去されず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合がありますので、消去する場合は、電池残量にご注意ください。**
- **画像プロテクト P145 された画像は消去できませんので、画像プロテクトを解除してから操作してください。**

1枚ずつ消去する

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P37

2

▶を押して ▶再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

4

MENUを押します。

［再生］メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で［消去］を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

6

【◀】【▶】で［現在の画像］を選び、

SETを押します。

- この時点ではまだ消去されていません。

7

【◀】【▶】で［実行］／［キャンセル］を選び、

SETを押します。

・［実行］を選ぶと、選んだ画像が消去され、再生モードに戻ります。
続けて消去を行う場合は、再度MENUを押して［再生］メニューから操作してください。

・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、再生モードに戻ります。

全ての画像を消去する

1

▶再生モードから MENUを押します。

[再生] メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [消去] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

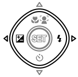
3

【◀】【▶】で [全ての画像] を選び、

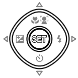
SETを押します。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

4



【◀】【▶】で［実行］／［キャンセル］を選び、



SETを押します。

・［キャンセル］を選ぶと、消去を中止して、再生モードに戻ります。
・［実行］を選ぶと、全ての画像が消去され、「画像がありません」と表示されます。操作は慎重に行ってください。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ 言語を設定する

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

液晶モニターの言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語	**繁體中文（中国語・繁体字）**	**Español（スペイン語）**
English（英語）	**简体中文（中国語・簡体字）**	**한국어（韓国語）**

- 言語のお買い上げ時の設定は[日本語]が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。
- ここで選んだ言語は、**初期設定に戻す** **P48** 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して[設定]を選び、

SETを押します。
[設定メニュー]が表示されます。

2

【▲】【▼】で [言語] を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で設定したい言語を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

オートパワーオフの時間 **[オフ]**／**[1分]** **初期設定**／**[2分]**／**[3分]** を設定できます。

オートパワーオフ機能について **P38**

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して **[設定]** を選び、

SETを押します。

[設定メニュー] が表示されます。

2

【▲】【▼】で[オートパワーオフ]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で [オフ]／[1分]／[2分]／[3分] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [1分] に戻ります。
- **USB接続している** P158 場合や**スライドショー再生** P143 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

操作音の **[オン]** **初期設定** ／ **[オフ]** を設定できます。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して[設定] を選び、

SETを押します。

[設定メニュー] が表示されます。

2

【▲】【▼】で[操作音]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

ここで選んだ操作音の［オン］／［オフ］は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと［オン］に戻ります。

■ 画面表示を設定する

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

画面表示を **[標準]** **初期設定** ／ **[全表示]** ／ **[オフ]** から選ぶことができます。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して **[設定]** を選び、

SETを押します。

[設定メニュー] が表示されます。

2

【▲】【▼】で[画面表示]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で [標準]／[全表示]／[オフ] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

ここで選んだ画面表示は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [標準] に戻ります。

■ ファイル番号をリセットする

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

次に撮影される画像ファイル番号を0001から記録したい場合に使用します。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。
ファイル番号をリセットする操作を行うと、新しいフォルダが作成され､ファイル番号が0001から始まります。

フォルダ名について：

XXX_HCAM

フォルダの通し番号
（100～999）

ファイル名について：

HIMGYYYY.jpg

ファイルの通し番号
（0001～9999）

（動画ファイルは.avi）

- フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた場合や、ファイル番号をリセットする操作を行った場合に一つあがります。
- 詳しいフォルダ構造については、**SDメモリーカード内のフォルダ構造** P194 をご覧ください。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して[設定]を選び、

SETを押します。

[設定メニュー]が表示されます。

2

【▲】【▼】で[ファイル番号リセット]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で [実行] ／[キャンセル] を選び、

SETを押します。

・[実行] を選ぶと､ファイル番号をリセットし、[設定] メニューに戻ります。
・[キャンセル] を選ぶと、ファイル番号リセットを中止して、[設定] メニューに戻ります。

■ 液晶モニターの明るさを設定する

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

液晶モニターの明るさを **[標準]** **初期設定** ／ **[明るい]** から選ぶことができます。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して[設定]を選び、

SETを押します。

[設定メニュー] が表示されます。

2

【▲】【▼】で[液晶の明るさ]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で [標準]／[明るい]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[設定] メニューに戻ります。

- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [標準] に戻ります。
- ここで選んだ液晶モニターの明るさは、撮影する画像には反映されません。撮影画像の明るさを設定する場合は、**露出(明るさ)補正を設定する**P112 をご覧ください。

■ プレビューのオン／オフを設定する

モード：▭ 静止画撮影

静止画撮影モードで、撮影後に撮影画像を表示するプレビューの **[オン]** **初期設定** ／ **[オフ]** を設定できます。

1

静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

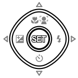
【▲】【▼】で[プレビュー]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で［オン］／［オフ］を選び、



SETを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

- **ここで選んだプレビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す** **P48** **操作を行うと［オン］に戻ります。**
- **動画撮影時はプレビュー表示できません。**

撮影(静止画・動画)について

■ シーンモードを設定する

モード： 静止画撮影

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

シーンモードの種類	設定内容
オート	特殊機能や手動調整をなしに画像を撮影します。
プログラムAE	各種撮影設定をマニュアルで設定できます。
笑顔認識 P103	笑顔を認識し、撮影を行います。
手ぶれ軽減	感度およびシャッタースピードを上げて手ぶれを軽減します。
パノラマアシスト P105	画像の位置を確認しながらパノラマ写真のように撮影できます。
人物	背景をソフトな感じに仕上げ、人物を引き立てます。
風景	焦点距離を遠景に設定し、風景をくっきりと撮影できます。
スポーツ	シャッタースピードを上げて撮影し、動いている被写体の撮影に適しています。
夜景人物	夜景・人物ともきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

シーンモードの種類	設定内容
夜景	暗い雰囲気を保ち、夜景をきれいに撮影できます。スローシャッターのため、カメラをしっかりと固定して撮影してください。
キャンドル	キャンドルの光のもとで、自然な色合いで撮影できます。
夕日	夕焼けを赤く鮮やかに撮影できます。
朝日	朝焼けをくっきりと鮮やかに撮影できます。
スノー	背景の明るい雪景色などで、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。
ビーチ	日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。
ペット	シャッタースピードを上げて撮影し、動きの速いペットの撮影に適したモードです。

スローシャッターのシーンモードの場合は、三脚を使用するなどしてカメラをしっかりと固定して撮影してください。

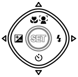
笑顔認識モードで撮影する

笑顔を認識し、撮影を行います。

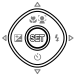
1

SETを押してシーンモード設定画面を表示させます。

2



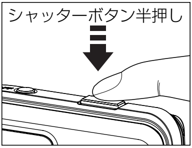
【▲】【▼】【◀】【▶】で[笑顔認識]を選び、



SETを押します。

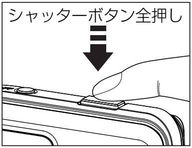
笑顔認識モードになります。

3



被写体の顔が認識されたらシャッターを半押しします。白色の枠の顔にピントが合い枠の色が緑色になります。

4



顔にピントを合わせたままシャッターを全押しします。

5

「笑顔認識中」と表示され、笑顔が認識されると自動で3枚連続撮影を行います。「認識できません」と表示された場合は再度撮影してください。

- 笑顔認識モードはフラッシュ機能は働きませんが、撮影モードを「シングル」に設定することで、フラッシュ撮影をすることができます。ただし、撮影モードを変更したり、電源をオフにすると「連写」に戻ります。
- 笑顔でも歯が見えていない場合など、笑顔と認識しない場合があります。

パノラマアシストモードで撮影する

画像の位置を確認しながらパノラマ写真のように撮影できるモードです。

1

SETを押してシーンモード設定画面を表示させます。

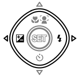
2

【▲】【▼】【◀】【▶】で[パノラマアシスト]を選び、

SETを押します。

パノラマアシストモードになります。

3



【◀】【▶】で画像をつなげる方向を選びます。

4

シャッターボタンを押し、撮影します。

1枚目の画像が撮影され、2枚目を撮影する画面が表示されます。

手順 3 で【▶】を選んでいる場合：

画面の左端に、1枚目に撮った画像の右端部分が透過表示されます。

手順 3 で【◀】を選んでいる場合：

画面の右端に、1枚目に撮った画像の左端部分が透過表示されます。

5

カメラを平行移動し、2枚目の画像を撮影します。

3枚目以降も同様に撮影していくと、つながったような写真が撮影できます。

- **パノラマアシストモード時は、顔認識機能、連写機能はは働きません。**
- **撮影した画像を本機でつなげることはできません。**

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。
画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、記録できる画像枚数が少なくなります。
以下の内容を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

［静止画］

項目	設定内容		用途の目安
画像サイズ（記録画素数）	12MP 3968×2976（約1200万画素）	大きい	大切な画像を撮影したり、A3サイズなど大きくプリントしたい場合
	8MP 3264×2448（約900万画素）		
	4MP 2304×1728（約400万画素）		L判サイズでプリントしたい場合
	2MP 1600×1200（約200万画素）		
	VGA 640×480（約30万画素）	小さい	より多くの画像を撮影したい場合や、メール添付用などインターネット上で使用したい場合

項目	設定内容		用途の目安
画質（圧縮率）	ファイン（低圧縮モード）	低圧縮	より良い画質で撮影やプリントしたい場合（画質優先）
	スタンダード（標準圧縮モード）	↕	より多くの画像を撮影したい場合（撮影枚数優先）
	エコノミー（高圧縮モード）	高圧縮	

[動画]

項目	設定内容		用途の目安
画像サイズ（記録画素数）	VGA 640×480	大きい	画質優先
	Q-VGA 320×240	小さい	撮影時間優先
画質（圧縮率）	ファイン	低圧縮	画質優先
	スタンダード	高圧縮	撮影時間優先

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと静止画の画像サイズは 12MP [3968×2976]に、動画の画像サイズは VGA [640×480] に、画質は ▦ [ファイン] に戻ります。
- 各画像サイズや画質での記録枚数については、**画像記録枚数・時間** P192 をご覧ください。

画像サイズを設定する

1

静止画撮影／▣動画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [画像サイズ] を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で設定したい画像サイズを選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

画質を設定する

1

静止画撮影／動画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［画質］を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で設定したい画質を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

モード：▭ 静止画撮影

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出（明るさ）を補正することができます。

- 設定できる露出補正値（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：

初期設定

−2、−1.7、−1.3、−1、−0.7、−0.3、0.0、0.3、0.7、1、1.3、1.7、2

1

静止画撮影モードから ◩（【◀】）を押します。

液晶モニターに露出補正値が表示されます。

2

【◀】【▶】で、露出補正の段階（露出補正値）を選び、

SETを押します。

液晶モニターに選んだ露出補正値が表示されます。

- ヒストグラムを確認しながら、露出補正の段階を設定するとより効果的な補正ができます。
ヒストグラム表示については、**液晶モニターの表示切替について** P30 をご覧ください。
- ここで選んだ露出補正値は、撮影モードを変更したり、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [0.0] に戻ります。ただしプログラムAEモードのみ、撮影モードを変更したり、電源をオフにした後も保持されます。
- 本機には露出補正の段階を自動的に変えながら連写撮影（3枚）するAE連写モードが搭載されています。
詳しくは、**連写撮影をする** P128 をご覧ください。
- 笑顔認識モードに設定している場合は露出補正の段階を設定できません。

■ ISO感度（撮像感度）を設定する

モード： 静止画撮影
シーン：プログラムAE時のみ

ISO感度を設定できます。
ISO感度とは、写真用フイルムの感度を表す単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光（暗い場所）での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。
ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。

オート：カメラが自動的に撮像感度を設定します。
初期設定

100　：ISO100相当　　感度が低い
200　：ISO200相当
400　：ISO400相当
800　：ISO800相当
1600：ISO1600相当　感度が高い

ISO感度を設定するには、シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。シーンモードを設定する **P101**

1

MENU

静止画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [ISO] を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で設定したいISO感度の値を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [オート] に戻ります。

■ ホワイトバランスを設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE時のみ

撮影時の光源に合わせて、被写体をより自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整するホワイトバランスを設定できます。

オート **初期設定**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。（色温度2700～6700K）
白熱灯：白熱灯下での撮影（色温度2850±150K）
蛍光灯1：蛍光灯下での撮影（色温度4100±200K）
蛍光灯2：蛍光灯下での撮影（色温度4600±200K）
晴天：太陽光での撮影（色温度4900±200K）
曇天：曇天での撮影（色温度6800±300K）
マニュアル：白い紙などを使って、その場の光源に合わせて手動で設定します。

ホワイトバランスを設定するには、シーンモードが［プログラムAE］に設定されている必要があります。
シーンモードを設定する P101

1 MENU

静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [ホワイトバランス] を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で設定したいホワイトバランスの種類を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [オート] に戻ります。

マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙など、白を基準としたものをカメラに記憶させ、その場の光源で最適なホワイトバランスを設定できます。特に以下のような場合は、オートモードではホワイトバランスが調整できない場合がありますので、マニュアルホワイトバランスを設定することをおすすめします。
—近距離（マクロ）で撮影する場合
—単一な色の被写体（空、海など）を撮影する場合
—水銀灯など特殊な光源下で撮影する場合

1

前ページ手順 3 で［マニュアル］を選び、

SETを押します。

2

【◀】【▶】で［新規設定］を選び、

SETを押します。
マニュアルWB設定（白データ取込み）画面が表示されます。

3

カメラを白い紙などに向け【◀】【▶】で［実行］を選び、SETを押します。

［実行］を選ぶと、白データが取り込まれ、［撮影］メニューに戻ります。［ホワイトバランス］は自動的に［マニュアル］に切り替わります。

- 一度設定したマニュアルホワイトバランスは、再度白データを取り込まない限り、保持されます。
- 撮影をする場合は、白データを取り込んだときと同じ条件下で撮影してください。
  条件が異なると、最適なホワイトバランスが得られない場合があります。

■ シャープネスを設定する

モード：静止画撮影
シーン：プログラムAE時のみ

撮影画像のシャープネス（鮮鋭度）を設定できます。

ハード　　　：鮮鋭度が高い
スタンダード：**初期設定**
ソフト　　　：鮮鋭度が低い

シャープネスを設定するには、シーンモードが［プログラムAE］に設定されている必要があります。
シーンモードを設定する P101

1

静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［シャープネス］を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で [ハード]／[スタンダード]／[ソフト] を選び、SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P48 **操作を行うと [スタンダード] に戻ります。**

■ 色効果を設定する

モード： 静止画撮影／ 動画撮影
シーン：プログラムAE時のみ（静止画撮影）

撮影画像の色効果を設定できます。

スタンダード：通常の撮影時の設定です。
初期設定

ビビット　：コントラストと色の濃さを強調し、よりくっきりとした色合いで撮影します。
セピア　：セピア色で撮影します。
白黒　：白黒で撮影します。
ブルー　：ブルーで撮影します。
レッド　：レッドで撮影します。
グリーン　：グリーンで撮影します。
イエロー　：イエローで撮影します。
パープル　：パープルで撮影します。

色効果を設定するには、静止画撮影ではシーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。
シーンモードを設定する P101

1

MENU

静止画撮影／ 動画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で
[色効果]を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】【◀】【▶】で
設定したい色効果
の種類を選び、

SETを押します。
選んだ内容を保持し、
[撮影] メニューに
戻ります。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと
[スタンダード] に戻ります。

■ コントラストを設定する

モード： 静止画撮影
シーン：プログラムAE時のみ

撮影画像のコントラスト（明暗の差）を設定できます。

高：明暗がはっきりする
中：**初期設定**
低：明暗が平坦になる

コントラストを設定するには、シーンモードが［プログラムAE］に設定されている必要があります。
シーンモードを設定する P101

1

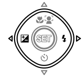
静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［コントラスト］を選び、

SETを押します。

3



【◀】【▶】で [高]／[中]／[低] を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

ここで選んだコントラストは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P48** **操作を行うと [中] に戻ります。**

■ 測光方式を設定する

モード： 静止画撮影
シーン：プログラムAE時のみ

測光方式を切り替えて撮影できます。

マルチ ：中央部重点平均測光で、画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
初期設定

スポット ：液晶モニター中央部のフォーカスフレーム内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたい場合に使用します。

アベレージ：液晶モニター画面全体を平均的に測光します。

測光方式を設定するには､シーンモードが [プログラムAE] に設定されている必要があります。
シーンモードを設定する P101

1

MENU

静止画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［測光方式］を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で［マルチ］／［スポット］／［アベレージ］を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだ測光方式は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと［マルチ］に戻ります。

■ 連写撮影をする　モード：静止画撮影

本機は連写撮影をすることができます。
連写撮影には、

連写　：フラッシュオフの連写撮影で、3枚（およそ1〜2秒間隔）の連写撮影ができます。

AE連写：露出補正の段階を自動的に変えながら3枚（−0.7EV、0.0、+0.7EV）の画像を撮影します。
被写体の明るさによってうまく撮影できない場合などに、AE連写で撮影すると、撮影したあとに最適な露出の画像を選ぶことができます。（AE：Auto Exposureの略）

の2種類があります。目的に応じて設定してください。

- **画像サイズや画質の設定によって、連写撮影の間隔が異なることがあります。**
- **各シーンモードによっては設定できない場合があります。**

1

MENU

静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で［連写］／［AE連写］を選び、

［シングル］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。

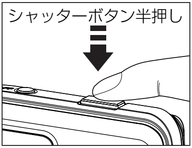
SETを押します。

4

MENUを押して、［撮影］メニューを終了します。

画面表示を［全表示］に設定している場合は、液晶モニターに選んだ連写モードのアイコンが表示されます。

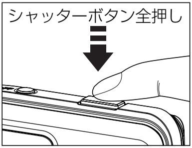
5



被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

ピントについて P56

6



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- 操作音の設定が [オン] になっている場合（初期設定は [オン] P90 ）は、「ピッ」という音で撮影されたことをおしらせします。
- 撮影したあとに、動作確認用ランプが点滅している場合は、SDメモリーカードへ画像記録中のため、次の撮影はできません。

- ここで選んだ撮影モードは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [シングル] に戻ります。
- [連写] ／ [AE連写] を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。 Ⓢ モードになります。

■ クイック撮影をする モード：▭ 静止画撮影

シャッターを押すとピントを合わせることなく即座に
撮影できます。

1

静止画撮影モードからMENUを押して [撮影] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [クイック撮影]を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で［オン］を選び、

SETを押します。

4

MENUを押して、［撮影］メニューを終了します。

画面表示を［全表示］に設定している場合は、液晶モニターにクイック撮影のアイコンが表示されます。

5

被写体にカメラを向けてシャッターボタンを全押しします。

ここで選んだクイック撮影は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと［オフ］に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード： 静止画撮影／ 動画撮影

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

：2秒後に撮影されます。
- 暗い場所やズームを使うなど手ぶれが起きやすい条件下での撮影時に、シャッターボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに効果的です。

：10秒後に撮影されます。

：10秒後と引き続きその2秒後の2回撮影されます。（静止画撮影時のみ）
- 集合写真などを撮影する場合に、念の為に2回撮影しておきたい場合などに便利です。

1

静止画撮影／動画撮影モードで、【▼】（ ）を押します。

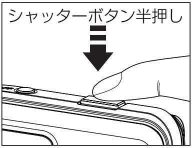
セルフタイマー設定選択画面になります。

2

【◀】【▶】で[2秒]／[10秒]／[10+2秒] を選び、SETを押します。

液晶モニターに選んだタイマー時間がアイコン表示されます。（オフの場合は表示されません）

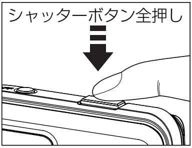
3

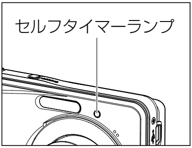


被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押しして ピントを合わせます（フォーカスロック）。

ピントについて P56

4





半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

・セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニター内に数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に撮影されます。

●セルフタイマー撮影を途中で解除する場合は、
シャッターボタンまたはSETボタンを押します。
●撮影モードを［連写］、［AE連写］に設定している場合 P128 やパノラマアシストモードの場合は、10+2はできません。
●笑顔認識モードの場合はセルフタイマー機能は設定できません。
●撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正値など）はセルフタイマー時も有効です。
●一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

■ 日付プリントを設定する

モード： 静止画撮影

撮影画像に撮影時の日付を焼き付ける（初期設定は**[オフ]**）ことができます。

日付プリントの設定を［オン］にして撮影すると、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1

静止画撮影モードからMENUを押して［撮影］メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で［日付プリント］を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で [オン]／[オフ]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P48 操作を行うと [オフ] に戻ります。
- 日付プリントの形式や、文字の色や大きさを設定することはできません。

再生(静止画・動画)について

■ 赤目を補正する

モード： ▶ 再生

ストロボ撮影で赤く写ってしまった目を補正することができます。

1

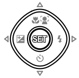
【▲】【▼】【◀】【▶】で赤目を補正したい画像を選びます。

2

MENUを押して[再生] メニューを表示させます。

3

【▲】【▼】で [赤目補正]を選び、



SETを押します。

選択画面が表示されます。

応用操作編

日付プリントを設定する・赤目を補正する

4

【◀】【▶】で[実行]／[キャンセル]を選び、

SETを押します。

・[実行] を選ぶと、赤目補正を実行し、上書きを確認する画面が表示されます。
・[キャンセル] を選ぶと赤目補正を中止して、再生モードに戻ります。

5

【◀】【▶】で[実行]／[キャンセル]を選び、

SETを押します。

・[実行] を選ぶと、赤目補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存され、再生モードに戻ります。
・[キャンセル] を選ぶと赤目補正を中止して、再生モードに戻ります。

- **写真によっては赤目を補正できない場合もございます。**
- **動画像の場合は赤目を補正できません。**

■ 明るさを補正する　　モード：▶ 再生

撮影した画像の明るさを補正することができます。

1

【▲】【▼】【◀】【▶】で明るさを補正したい画像を選びます。

2

MENUを押して[再生] メニューを表示させます。

3

【▲】【▼】で [明るさ補正]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

4

【◀】【▶】で[低]／[高]を選び、

SETを押します。

上書きを確認する画面が表示されます。

5

【◀】【▶】で[実行]／[キャンセル]を選び、

SETを押します。

・[実行] を選ぶと、明るさ補正された画像が元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存され、再生モードに戻ります。
・[キャンセル] を選ぶと明るさ補正を中止して、再生モードに戻ります。

動画像の場合は明るさを補正できません。

■ スライドショー再生をする

モード：▶ 再生

メモリー内にある全ての画像を**3秒**／**5秒** **初期設定** ／**10秒**間隔でスライドショー再生することができます。

1

▶再生モードからMENUを押して[再生] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で[スライドショー]を選び、

SETを押します。

3

【◀】【▶】で [3秒]／[5秒]／[10秒] を選び、

SETを押します。

表示中の画像から設定した再生間隔で、スライドショー再生を開始します。

・再生中に、SETを押すと、表示中の画像でスライドショー再生を停止します。

- 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。
- スライドショー再生中の表示は切り替えることはできません。
- スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** **P38** ははたらきません。

■ 画像プロテクトを設定する

モード：▶ 再生

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。
画像プロテクトを設定する方法には、

・1枚ずつプロテクトを設定する

・全ての画像のプロテクトを設定する

の2つの方法があります。

- **プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。**
- **プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする P152 操作を行うと消去されます。**
- **プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチ P47 を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。**

1枚ずつプロテクトを設定する

1

【▲】【▼】【◀】【▶】でプロテクトを設定したい画像を選びます。

動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

2

MENUを押して[再生] メニューを表示させます。

3

【▲】【▼】で [画像プロテクト]を選び、

SETを押します。

画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

4

【◀】【▶】で [現在の画像]を選び、

SETを押します。

プロテクト確認の画面が表示されます。

5

【◀】【▶】で[設定]／[解除]を選び、

SETを押します。

選んだ内容を実行します。

続けてプロテクト設定を行う場合は、再度MENUを押して［再生］メニューから操作してください。

・［設定］を選ぶと、選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに O┳ が表示されます。

画面表示が「オフ」に設定されている場合は、O┳ は表示されません。

・［解除］を選ぶと、選んだ画像のプロテクトが解除されます。

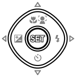
全ての画像のプロテクトを設定する

1

再生モードから MENUを押して [再生] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [画像プロテクト]を選び、



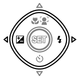
SETを押します。
画像プロテクトの方法選択画面が表示されます。

3

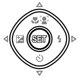
【◀】【▶】で [全ての画像]を選び、

SETを押します。
プロテクト確認の画面が表示されます。

4



【◀】【▶】で[設定]／[解除]を選び、



SETを押します。

選んだ内容を実行します。

続けてプロテクト設定を行う場合は、再度MENUを押して [再生] メニューから操作してください。

・[設定] を選ぶと、全ての画像がプロテクトされ、液晶モニターに O-m が表示されます。

画面表示が「オフ」に設定されている場合は、O-m は表示されません。

・[解除] を選ぶと、全ての画像のプロテクトが解除されます。

■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする(コピー to SDカード機能）

モード：▶ 再生

内蔵メモリ(32MB)に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。

SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合で､SDメモリーカードを使用(挿入)している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず､記録されているデータが破損したり､SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
- 本操作を行うと､内蔵メモリ内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

▶再生モードから MENUを押して [再生] メニューを表示させます。

2

【▲】【▼】で [カードへコピー]を選び、

SETを押します。

選択画面が表示されます。

3

【◀】【▶】で [実行] ／[キャンセル] を選び、

SETを押します。

- [実行] を選ぶと、内蔵メモリ内にある全ての画像をSDメモリーカードにコピーして再生モードに戻ります。
- [キャンセル]を選ぶとコピーを中止して、再生モードに戻ります。

SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

消去について

■ フォーマットする

モード： 静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

SDメモリーカードについて P15 をあわせてご覧ください。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット**してから使用してください。
- フォーマットすると内蔵メモリまたはSDメモリーカード内のデータが全て消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**

※プロテクト P145 **されている画像も消去されます。**

- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できない場合があります。

1

MENUを押して各メニューから

【▲】【▼】を押して[設定]を選び、

SETを押します。

[設定メニュー]が表示されます。

2

【▲】【▼】で[フォーマット]を選び、

SETを押します。

- この時点ではまだフォーマットされていません。

3

【◀】【▶】で[実行]／[キャンセル]を選び、

SETを押します。

・[実行] を選ぶと、フォーマットが実行されます。
操作は慎重に行ってください。

・[キャンセル] を選ぶと、フォーマットを中止して、[設定] メニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows XP/Vista/7
日本語版

□USBインターフェース（1.1仕様）を
標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 **カメラとパソコンを接続する** P158

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作をを行います。

↓

2 **［マイコンピュータ］または［コンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする** P160

↓

3 **カメラを取り外す** P163

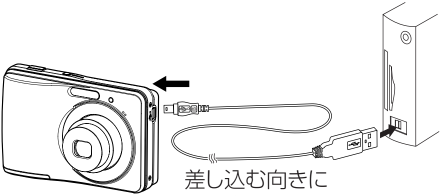
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P38 ははたらきません。
- カメラとパソコンを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。
  パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- 電源はパソコン本体から供給されません。
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P163 に従って操作してください。
- **パソコンでのフォーマットは行わないでください。**

1 カメラの電源をオフにして、USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

パソコンは起動した状態で操作してください。



差し込む向きにご注意ください。

2 カメラの電源をオンにします。

[USB] メニューが表示されます。

3 SETを押します。

液晶モニターがオフになります。

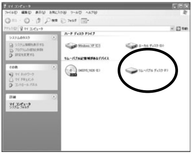
- 初回接続時は、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行うため、[新しいハードウェアが見つかりました] ウィザードが表示される場合があります。
  設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックし、画面の指示に従ってください。
  「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了] をクリックします。
- OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリック、または右上の [☒] をクリックします。

2 画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ/ライタ接続)

市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所(マイドキュメント内など)へコピーしてから行うことをおすすめします。

イラストはWindows XPで説明しています。

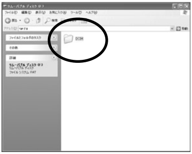
1



① カメラとパソコンを接続する P158 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ]または[コンピュータ]から[リムーバブルディスク]をダブルクリックして開きます。

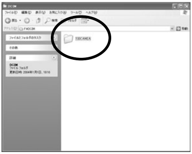
- [リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、**パソコン接続でお困りの時の確認方法** P166 をご覧ください。

2



[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

3



[100_HCAM](コピーしたい画像の入っている)フォルダをダブルクリックして開きます。

4

パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

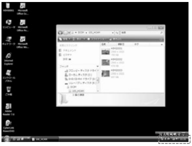
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P152 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

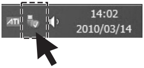
2



タスクバー

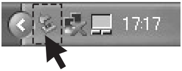
タスクバー上の[ハードウェアの取り外し] アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで [停止します(取り外します)]をクリックします。

〈Windows 7の場合〉 ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す



〈Windows Vistaの場合〉 ハードウェアの安全な取り外し

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します



[停止します(取り外します)] をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

（Windows XP/7では [OK] のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

デジタルカメラ(以下、カメラ)をパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコンとの接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 最初に、ご使用のパソコンに接続されているすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱されている専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかり装着されているか、ご確認ください。

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？

Windows 98/98SE/ME/2000

→本機はWindows 2000以前のOSのサポートはいたしておりません。

Windows XP/Vista/7

→ **3** へ進んでください。

3 アルカリ乾電池を新品に入れ換える。（充電池の場合は充電する）

確認結果： 認識されない。

→Windows 7をご使用の場合は、**4** へ進んでください。

Windows Vistaをご使用の場合は、**5** へ進んでください。

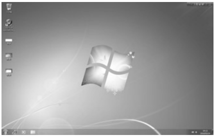
Windows XPをご使用の場合は **6** へ進んでください。

認識された。

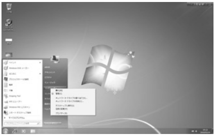
→電池が消耗していたと思われます。

4 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：



1）“スタート” をクリックする。



2）“コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ” を選択する。

“プロパティ” が表示されない。

→ **9** へ進んでください。

3）システム情報の画面が表示されます。

4）システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。

5）“デバイスマネージャ”が開きます。

6）“デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の左側の“▷”をクリックする。

7）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の詳細が表示されます。

8）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **7** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

5 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

1）“スタート” をクリックする。

2）“コンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ” が表示されない。
→ **9** へ進んでください。

3）システム情報の画面が表示されます。

4）システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。

5）“ユーザーアカウント制御”の画面が表示されますので、“続行”を選択する。

6）“デバイスマネージャ”が開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の左側の“+”をクリックする。

8）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の詳細が表示されます。

9）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

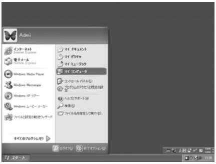
→ **7** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

6 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

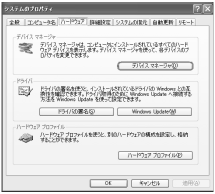


1）“スタート”をクリックする。

2）“マイコンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ”が表示されない。
→ **9** へ進んでください。

3）“システムのプロパティ”が開きます。

4）“システムのプロパティ”上段の“ハードウェア”を選択する。



5）“デバイスマネージャ”をクリックする。

6）“デバイスマネージャ”が開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の“USB”(Universal Serial Bus) コントローラの左側の “+” をクリックする。

8）USB”(Universal Serial Bus)コントローラの詳細が表示されます。

9）USB”(Universal Serial Bus)コントローラの中に“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。

→ **7** へ進んでください。

“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。

→ **11** へ進んでください。

7 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： 8 へ進んでください。

いいえ： 11 へ進んでください。

8 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： 12 へ進んでください。

いいえ： 10 へ進んでください。

9 “コンピュータ”（Windows 7/Vistaの場合）もしくは、“マイコンピュータ”（Windows XPの場合）の“プロパティ”が表示されない。

要因： ・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。

10 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ”等に表示されない。（Windows 7/Vistaの場合）“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているが、“マイコンピュータ”等に表示されない。（Windows XPの場合）

要因：・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

11 "USB大容量記憶装置"（Windows 7/Vistaの場合）もしくは、"USB大容量記憶装置デバイス"（Windows XPの場合）が表示されていない"

要因：・カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
・パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

12 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因：・パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続を確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電源ボタンを押す操作が短すぎた。	→もう一度しっかりと電源ボタンを押す。P37
	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P34
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P34
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、電源をオンにする。
電池の消耗が早い。	●電源オン／オフの回数が多い。	—
	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—

症状	原因	処置
電池の消耗が早い。	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能 P38 がはたらいた。または液晶画面が暗くなる。	→もう一度電源をオンにする。P37 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P88
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P34

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→MODEまたは ▶を押して、撮影モードに切り替える。
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P37
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。

症状	原因	処置
撮影できない	●画像記録中･ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→動作確認用ランプが点灯している状態で撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。	→MODEを押して、静止画撮影モードに切り替える。
	●静止画撮影時、再生モードになっている。	→MODEまたは ▶を押して、撮影モードに切り替える。P21
	●動画撮影時､静止画撮影モードになっている。	→MODEを押して、動画撮影モードに切り替える。P21
	●動画撮影時、再生モードになっている。	→MODEを2回または▶ とMODEを押して、動画撮影モードに切り替える。
	●オートパワーオフ機能 P38 がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。P37 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P88
	●メモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去するか、別のSDメモリーカードと交換する。P44 →画像サイズを小さくする。P109

症状	原因	処置
撮影できない	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック」が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P47
	●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。	→データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが Ⓢ 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードをオートもしくは発光モードにする。
	●電池残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	→新しい電池と交換する。
	●被写体が明るい。	—
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲（約0.5m～約1.8m（T）、約0.5m～約2.4m（W））で撮影する。

症状	原因	処置
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●ストロボ連動範囲より被写体が近い。	→ストロボ連動範囲（約0.5m～約1.8m（T）、約0.5m～約2.4m（W））で撮影する。
撮影画像がぼやけている。	●ストロボに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約5cm以上、標準時：約40cm以上）で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ブレ	→しっかりとカメラを固定（三脚を使うなど）して撮影する。 →手ぶれ軽減モードを使用する。**P101**
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはSDメモリーカード内の画像を消去するか、別のSDメモリーカードと交換する。**P44**

症状	原因	処置
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P34
内蔵フラッシュメモリ(32MB)に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。 P44

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→▶を押して、再生モードに切り替える。 P21
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードロック」が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P47
	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。P145
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使用する。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク] が表示されないなど)	●本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ] を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ] を確認してください。	→[USB大容量記憶デバイス] に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス] を [削除] してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ] を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ] を確認してください。	→[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB(ユニバーサルシリアルバス) コントローラ] に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。

症状	原因	処置
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラを取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→「カメラを取り外すときは」P163に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ] は、[マイコンピュータ] から右クリックで [プロパティ] を選ぶか、[コントロールパネル] から [システム] をダブルクリックして、[システムのプロパティ] から開きます。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語(Language)] が[English]なっている。	→[表示言語] を [日本語] に切り替える。P86

症状	原因	処置
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
液晶モニターに光の帯が出る。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。※動画像には記録されます。
カメラの操作ができない。（動作確認用ランプが消灯、または点滅したままなど）	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げの販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。 P36	→新しい電池と交換する。 P34
レンズが収納されない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。再度電源をオン／オフにしても、レンズが収納されない場合は、電源オン／オフの操作を数回繰り返して行ってください。

症状	原因	処置
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能 P38 がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P88 →オートパワーオフを[2分/3分/オフ]にした場合、約1分間無操作状態が続くと自動的に液晶モニターがオフになります(動作確認ランプは緑色点灯のままです)。この場合、電源ボタン以外のボタンを押すことで液晶モニターが復帰します。電源ボタンを押した場合は電源が切れます。

警告表示など

表示	原因	処置
メモリーエラー	●内蔵メモリに異常が発生した可能性がある。	→SDメモリーカードを本機から取り外し、内蔵メモリのフォーマットを行ってください。P152

表示	原因	処置
カードエラー	●SDメモリーカードが本機でフォーマットされていない。	→SDメモリーカードを本機でフォーマットをしてください。 P152
	●SDメモリーカードが壊れている。	→お使いのSDメモリーカードのメーカーへお問い合わせください。
カードロック	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P47
カード残量がありません	●SDメモリーカードに空き容量がない。	→画像を消去する P80 か、空き容量のあるSDメモリーカードを使用 P44 してください。
メモリー残量がありません	●内蔵メモリに空き容量がない。	→画像を消去して、空き容量を増やしてください。P80
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	—
ファイルエラー	●ファイルに異常が発生した可能性がある。	→なんらかの原因でファイルが壊れた可能性があります。
ファイル保護	●画像保護が設定されている。	→画像保護の設定を解除する。
電池残量がありません	●電池の残量がありません。	→新しい電池と交換してください。

■ メニューと設定項目

【　　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目	設定内容
静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ P109	【12M】／8M／4M／2M／VGA
		ISO P114	【オート】／100／200／400／800 1600
		画質 P110	【ファイン】／スタンダード／エコノミー
		ホワイトバランス P116	【オート】／白熱灯／蛍光灯1／ 蛍光灯2／晴天／曇天／マニュアル
		シャープネス P120	ハード／【スタンダード】／ソフト
		色効果 P122	【スタンダード】／ビビット／セピア／ 白黒／ブルー／レッド／グリーン／ イエロー／パープル
		コントラスト P124	高／【中】／低
		測光方式 P126	【マルチ】／スポット／アベレージ
		撮影モード P128	【シングル】／連写／AE連写
		クイック撮影 P131	オン／【オフ】
		デジタルズーム P62	オン／【オフ】
		プレビュー P99	【オン】／オフ
		日付プリント P137	オン／【オフ】
動画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ P109	【VGA】／Q-VGA
		画質 P110	【ファイン】／スタンダード
		色効果 P122	【スタンダード】／ビビット／セピア／ 白黒／ブルー／レッド／グリーン／ イエロー／パープル
		音声 P71	【オン】／オフ
		デジタルズーム P62	オン／【オフ】

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
▶ 再生モード	再生メニュー	消去	P80	画像を消去します。
		赤目補正	P139	撮影後に赤目を補正します。
		明るさ補正	P141	撮影後に明るさを補正します。
		スライドショー	P143	3秒／【5秒】／10秒
		画像回転	P77	右90°／左90°
		画像プロテクト	P145	画像プロテクト設定画面を表示します。
		カードへコピー	P150	内蔵メモリからSDメモリーカードへ画像をコピーします。
各モード共通	設定メニュー	日付／時刻	P39	日付／時刻の設定画面を表示します。
		言語	P86	【日本語】／English（英語）／ 繁體中文（繁体字）／ 简体中文（簡体字）／ Español（スペイン語）／ 한국어（韓国語）
		オートパワーオフ	P88	オフ／【1分】／2分／3分
		操作音	P90	【オン】／オフ
		画面表示	P92	【標準】／全表示／オフ
		ファイル番号リセット	P94	画像ファイル番号をリセットします。
		周波数	P42	【50 Hz】／60 Hz
		液晶の明るさ	P97	【標準】／明るい
		フォーマット	P152	内蔵メモリ、SDメモリーカードをフォーマットします。
		メモリー情報		使用メモリーのサイズ、メモリー残量を表示します。
		システム情報		バージョン情報を表示します。
		初期設定に戻す	P48	各設定内容を初期設定に戻します。

■ 仕様

有効画素数		約1200万画素
撮像素子		1/2.33インチCCDセンサー （総画素数：約1200万画素）
記録媒体		SDメモリーカード （32/64/128/256/512MB/1/2/4/8/16/32GB(SDHC)対応）（※1） 内蔵32MBフラッシュメモリ（※2）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF2.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	3968×2976（約1200万画素）／3264×2448（約800万画素）／2304×1728（約400万画素）／1600×1200(約200万画素)／640×480(約30万画素)
	圧縮率	ファイン（低圧縮モード）／スタンダード（標準圧縮モード）／エコノミー（高圧縮モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG） ※音声あり、スピーカーなし
	記録画素数	VGA（640×480）／QVGA（320×240）
	フレームレート	約30フレーム/秒
レンズ	構成	5群6枚
	焦点距離	34mm（W）～102mm（T）
	F値（最大値）	F No.=3（W）～5.6（T）
オートフォーカス方式		TTLコントラスト方式
ズーム		光学ズーム：3倍、デジタルズーム：6倍
液晶モニター		2.7型TFTカラー液晶、約23万画素 （960×240ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約0.4m～∞、近距離：約0.05m～∞（W）、0.3m～∞（T）
シャッター		電子シャッター、1～1/2000秒（オート）
撮像感度		オート／ISO64／100／200／400／800／1600相当
測光方式		マルチ／スポット／アベレージ測定
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	－2.0EV～＋2.0EV

ホワイトバランス		オート／プリセット(白熱灯／蛍光灯1／蛍光灯2／晴天／曇天)／マニュアル
ストロボ	連動範囲(推奨)	約0.5m〜約1.8m(T)、約0.5m〜約2.4m(W)
	発光モード	オート／強制発光／発行禁止／赤目軽減／夜景フラッシュ
セルフタイマー		オフ／2秒／10秒／10+2秒
撮影モード		シングル(通常)撮影、連写撮影(3枚)、AE連写撮影(3枚)、動画(音声付き)撮影
再生モード		シングル(通常)再生、ズーム再生(最大4倍(0.5ステップ))、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ		1分／2分／3分／オフ
インターフェース		USB端子(USB(2.0仕様))
電源		単3乾電池2本(アルカリ乾電池／ニッケル水素電池(別売)
外形寸法		96mm×60.7mm×27.7mm(突起部除く)
質量		約114g(電池、付属品除く)
使用条件		0℃〜40℃、湿度85%以下(結露しないこと)

(※1) SDメモリーカードは別売です。(株)アイ・オー・データ機器、(株)ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。

(※2) 内蔵フラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約23MBです。

付属品

専用USBケーブル、ストラップ、カメラポーチ、単3形アルカリ乾電池2本(動作確認用)、取扱説明書(保証書付)

画像記録枚数・時間／データサイズ（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	内蔵32MBフラッシュメモリ	SDメモリーカード1GB(別売)
3968×2976（約1200万画素）	ファイン	約2枚	約137枚
	スタンダード	約4枚	約190枚
	エコノミー	約6枚	約281枚
3264×2448（約800万画素）	ファイン	約4枚	約191枚
	スタンダード	約6枚	約271枚
	エコノミー	約9枚	約414枚
2304×1728（約400万画素）	ファイン	約6枚	約311枚
	スタンダード	約10枚	約465枚
	エコノミー	約15枚	約668枚
1600×1200（約200万画素）	ファイン	約13枚	約575枚
	スタンダード	約19枚	約819枚
	エコノミー	約25枚	約1094枚
640×480（約30万画素）	ファイン	約53枚	約2271枚
	スタンダード	約69枚	約2900枚
	エコノミー	約87枚	約3652枚
640×480【動画】（VGA）	ファイン	0:00:11	0:07:46
	スタンダード	0:00:12	0:08:47
320×240【動画】（QVGA）	ファイン	0:00:34	0:22:59
	スタンダード	0:00:44	0:31:34

（※3）画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※4）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※5）	再生時間（※6）
単3形アルカリ乾電池	約120枚	約180分

（※4）標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。

（※5）CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
- 30秒間隔でストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

（※6）約3秒1コマを連続で再生した場合

■ 索引

■ メモリ（SDメモリーカード）内のフォルダ構造

DCIM

- 100_HCAM ――― 記録フォルダ
  - HIMG0001.jpg ― 静止画像ファイル
  - HIMG0002.avi ― 動画像ファイル
  - ・
  - ・
  - ・
- 101_HCAM ――― 記録フォルダ（※1）
- 102_HCAM ――― 記録フォルダ（※1）
- ・
- ・
- ・

（※1）フォルダの通し番号101以降はファイル番号をリセットする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。

家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）9:00〜19:00（365日）／
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、
PHSからもご利用できます。土曜・日曜・
祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の
休日は休ませていただきます。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の記載内容にもとづいて修理させていただきます。
保証期間が 過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理 させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から本体1年です。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターまたはお客様相談センターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）による故障および損傷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

http://www.hitachi-ls.co.jp/

MEMO

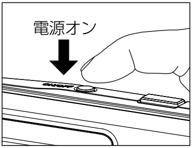
MEMO

撮影する

詳しくは**静止画を撮る** P52 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**電池を入れる** P34 に従って、電池を挿入してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P44 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードは別売です。

1



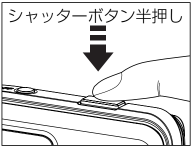
電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P37

2

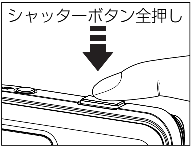
両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

3



被写体をフォーカスフレームに合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます（フォーカスロック）。

4



半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

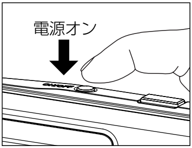
シャッターが切れます。

撮影した画像を見る

詳しくは**静止画／動画を見る** P74 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（1.5倍、2倍、2.5倍、3倍、3.5倍、4倍）P75 、スライドショー再生 P143 、動画再生 P79 があります。

1



電源ボタンを押し、電源をオンにします。

電源のオン／オフ P37

2

▶を押して再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【◄】【►】で画像を選びます。

・動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">形名</td><td rowspan="2" colspan="2">HDC-1231</td><td>※ お 買 い 上 げ 日</td><td>保 証 期 間</td></tr>
<tr><td>平成　　年　　月　　日</td><td>本 体 ： 1 年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※お客様</td><td>ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　-</td></tr>
<tr><td>ご 芳 名</td><td colspan="3">様</td></tr>
<tr><td rowspan="2">※販売店</td><td>住　　所</td><td colspan="3">〒　　-</td></tr>
<tr><td>店　　名</td><td colspan="3">TEL</td></tr>
</table>

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
（ニ）車輛、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
（ヘ）本書のご提示がない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には P195 のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または P195 のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後 3 年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611
FAX.03（3260）9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。